

〔例題 1〕 ソーシャルワークに関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. ケースカンファレンスとは、他の専門職と協働して取り組むチームアプローチであり、より良い支援のための会議である。
2. ソーシャルアクションとは、グループワークの原則の一つで、メンバーがグループでのプログラム活動に主体的に参加できるように働きかけることである。
3. マッピング技法とは、一定の社会や社会集団の特性を明らかにするために、社会事象を対象として、それに関連する諸事実のデータを収集・分析することである。
4. インテークとは、介入や実施と言われるもので、利用者の抱えた問題について社会資源を活用しながら支援する過程である。
5. スーパービジョンとは、ソーシャルワークの過程で利用者がコンピテンス（対処能力）を獲得するアプローチである。

〔正答 1〕

〔例題2〕 児童福祉施設の設備及び運営に関する基準に基づく、保育所の運営に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 保育所の運営にあたり、職員として保育士、嘱託医、調理員及び保健師を置くことになっている。
2. 2歳以上の幼児を入所させる保育所には、ほふく室を設けなければならない。
3. 4歳以上児おおむね25人につき、1人以上の保育士を配置する。
4. 乳児おおむね6人につき、1人以上の保育士を配置する。
5. 1歳以上3歳未満児おおむね6人につき、1人以上の保育士を配置する。

〔正答5〕

〔例題3〕 離乳食の進め方に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. スプーンは離乳開始前より積極的に使用し慣らしておく。
2. 離乳の開始時期は生後2、3か月が適当である。
3. 離乳の開始時期は母乳や育児用ミルクを制限する。
4. 生後6か月頃からは鉄分の不足に十分配慮する。
5. 生後12か月から18か月頃の調理形態は歯ぐきでかめる固さとする。

〔正答5〕